

【講演会】薬・サプリ・健康食品の リテラシー：セルフメディケーションへ向けて

場所：航空会館（新橋駅5分、内幸町駅すぐ）

日時：2018年11月14日（水）13:30－16:30 定員：60名 主催：リテラジャパン

参加費：事業者・企業・業界団体 1,2万円（税抜） その他 5,000円 消費者団体 無料・行政 1,000円＊ メディア無料

■参加特典 書籍 2点＊ すべての参加者に10月発売 西澤の新刊書『リスクを伝えるハンドブック』（エネルギーフォーラム、カラー版：予価1,600円）、『リスクコミュニケーションハンドブック』（2014年 自社出版品）計3,100円分を差し上げます■

【概要】ドラッグストア、百貨店、店頭、通販で買える 一般のOTC 薬、化粧品、サプリメントを使いこなすには使用者がリスクを見極めるリテラシーが必要です。現状ではまだその意識が共有されていません。今回は国民生活センター理事 宗林さおり氏に、消費者の視点からこの力をつけるための試みがどう必要かを具体例を基にお話しいただきます。事業者や薬剤師（薬局）の視点からも問題意識やご経験を共有いただき、会場との意見交換をいたします。

＊ 書籍代の一部 2,000円はご負担ください。

【登壇者】 宗林さおり氏（独立行政法人 国民生活センター 理事）
木村毅氏（味の素(株)常務執行役員・[健康食品産業協議会](#) 会長）
寺本祐之氏（株）ファンケル 総合研究所 機能性食品研究所 所長）
小縣悦子氏（一般社団法人 [日本女性薬剤師会](#) 副会長・（株）ライフバランス 代表・ライフバ
ランス薬局）
西澤 真理子（[リテラジャパン](#)代表・日本学術会議連携委員）

【プログラム】

13:30 はじめに
13:40 宗林氏「食品・健康食品・一般用薬品：消費者自らが選択するセルフメディケーションへ」
14:20 質疑
14:30 木村氏「リテラシー向上にむけた 産業界の取組み例紹介」
14:45 寺本氏「サプリメントの機能性の安全性：お客様への情報発信」
15:00 小縣氏「医薬品と消費者リテラシーの必要性：薬剤師の視点」
15:15 西澤「消費者とのコミュニケーションの課題」
15:30 パネル討議（リテラシーの現状、使う側のリテラシーは上がるのか、事業者は何ができるかを
議論。パネル進行 西澤）
16:00 会場との討議・閉会（16:30）

【申し込み・問い合わせ】

専用ウェブよりお申し込みください <http://literajapan.com>

リテラジャパンセミナー事務局（(有)アルパシエ内）担当：小澤（[panel \(at\) literajapan.com](mailto:panel@literajapan.com)）
literajapan.com 03-6423-8262）